

2018-2019

Result Report

学生三大駅伝 結果報告

第30回 出雲駅伝・第50回 全日本大学駅伝・第95回 箱根駅伝



中央学院大学

出雲

2018/10/8 《総合6位》
2時間15分04秒(45.1km)

区間	距離	氏名 (学年)	通過順位	区間順位	区間タイム
1区 (8.0km)		川村 悠登 (3年)	4位	4位 …	23分31秒
2区 (5.8km)		栗原 啓吾 (1年)	5位	9位 …	17分03秒
3区 (8.5km)		高橋 翔也 (2年)	6位	8位 …	25分57秒
4区 (6.2km)		吉田 光汰 (1年)	6位	6位 …	18分20秒
5区 (6.4km)		青柳 達也 (1年)	6位	10位 …	19分22秒
6区 (10.2km)		石綿 宏人 (2年)	6位	8位 …	30分51秒

1区、川村悠登(3年)



6位でタスキをつなげた。
5区青柳達也(1年)は区間10位と力を出し切れなかったが、最終6区の石綿宏人(2年)が積極的な走りでの差を詰め、帝京大学と2秒差の6位でフィニッシュ。この順位は2016年の4位に次ぐ過去2番目タイの好成績だった。「今回の出雲は学生駅伝に出場していない選手に経験を積ませることと、今季成長を見せている川村、高橋、石綿が主要区間でどれだけ他大学と戦えるか、その2点を試す狙いでオーダーを組みました。総合6位は予想よりも良かったですし、この先もミスさえしなければ順位はついてくるかなと思います」(川崎勇二監督)

主力の上級生を外したお話し。オーダーで結果を残したことは、中央学院大学の「大いなる可能性」を感じさせた。

第30回 出雲全日本 大学選抜駅伝競走

2年生以下5名で6位と大健闘!

4年連続9回目の出場は6人中5人が2年生以下というオーダーで臨んだ。1区川村悠登(3年)は今季絶好調の勢いをそのままに、トップを奪った青山学院大学から16秒差の4位と好スタートを切った。2区栗原啓吾(1年)、3区高橋翔也(2年)は順位を1つずつ落とし、6位で4区の吉田光汰(1年)へ。5月の関東インカレ2部3000m障害で2位に食い込んだ期待のルーキーは区間6位と好走して、5位の帝京大学と同タイムの

第50回 全日本大学駅伝 対校選手権大会

14位という結果も箱根につながる経験

12回目の全日本大学駅伝は、山翼(4年)、横川巧、高砂大地、川村悠登(ともに3年)ら主力を欠き、厳しい戦いが予想された。その中で1区高橋翔也(2年)がトップの帝京大と9秒差の5位と好発進する。2区廣佳樹(4年)は主将の意

5区、青柳達也(1年)



4区、吉田光汰(1年)



地で踏ん張るも、スピードランナーを相手に苦戦。9位に転落した。起伏のある3、4区は1年生を抜擢。3区栗原啓吾は順位をキープするも、4区吉田光汰が順位を3つ落とし、順位を下げて、7区

全日本 2018/11/4 《総合14位》 5時間22分18秒(106.8km)

区間	距離	氏名 (学年)	通過順位	区間順位	区間タイム
1区 (9.5km)		高橋 翔也 (2年)	5位	5位 …	27分37秒
2区 (11.1km)		廣 佳樹 (4年)	9位	10位 …	32分56秒
3区 (11.9km)		栗原 啓吾 (1年)	9位	9位 …	35分05秒
4区 (11.8km)		吉田 光汰 (1年)	12位	14位 …	36分17秒
5区 (12.4km)		藤井 雄大 (3年)	13位	13位 …	37分35秒
6区 (12.3km)		石綿 宏人 (2年)	14位	10位 …	38分49秒
7区 (17.6km)		釜谷 直樹 (4年)	14位	12位 …	53分58秒
8区 (19.7km)		有馬 圭哉 (3年)	14位	11位 …	60分01秒

釜谷直樹(4年)は14位をキープ。最終8区の有馬圭哉(3年)は順天堂大学の背中に近づくも4秒届かず、14位でレースを終えた。「主力の故障もあり、駅伝にならないような状況でした。箱根のことを考えて、いつもなら使わないような区間に選手を起用しましたが、不安な部分が全部出てしまいましたね。ある意味、実力通りです。それでも、悪いなりに収穫もありました。今後は不安要素をなくすためにも、故障者をひとりでも早く復帰させたい。そして箱根駅伝に向けて、チーム一丸となって取り組んでいきたいです」と川崎勇二監督。足並みがそろわなかったチームは箱根でのリターンマッチを誓っていた。

2区、廣佳樹(4年)



5区、藤井雄大(3年)



20回目の出場を 5年連続シードで 飾る!

今季は主力選手の離脱に苦しんだ中央学院大学。
全日本大学駅伝は14位だったが、箱根駅伝で巻き返す。
総合10位で5年連続のシード権を獲得した。

2019/1/2

往路は10位

4、5区で浮上

1区川村は実力発揮できず

エース級がそろった1区は今季1万mで28分39秒39(大学歴代5位)をマークするなど成長著しい川村悠登(3年)を起用。出雲駅伝でも1区4位と好走しており、初出場でも「思ったほど緊張せずにいつも通りの感じでレースに臨むことができた」と明かす。

序盤はスローペースで進む集団の中で力を溜めていたが、18km過ぎにスパートした東洋大・西山和弥(2年)につけず、14位で鶴見中継所へ。「自分の実力不足が身に染みてわかった(川村)と悔しい結果になった。川崎勇二監督は1区を「先頭と15秒差でつなげれば」と想定していたが、トップの東洋大とは39秒差。チームとしては苦しいスタートになった。

期待の高橋も中盤から失速

花の2区に抜擢されたのは高橋翔也(2年)。前回は1年生ながら4区で区間10位と上々の箱根デビューを飾っており、今季は出雲(3区8位、全日本1区6位)でも好走している選手だ。川崎監督は「区間ひとケタが狙える」と高く評価していたが、悪い流れを断ち切ることはできなかった。

序盤は11位争いを繰り広げるも、他校のエースに圧倒され、中盤から失速する。順位を2つ落とす区間16位に「残り3kmで切り替えられないくらい脚が動かなかった。レベルが高くて、今の自分では太刀打ちできない」と高橋は実力不足を痛感した。

ルーキー栗原で反撃開始

先輩が苦戦する中、3区を任せられた栗原啓吾(1年)は落ち着いた走りを見せた。序盤で後ろから追ってきた明治大学に抜かれ、さらに早稲田大学に追いつかれる状況でも、「前半から予定していたペースで走れた」と設定タイムを守り、後半に猛チャージ。残り3kmで、並んでいた早稲田大学を突き



1区は箱根駅伝初出場となる川村悠登(3年)



伸び盛りの高橋翔也(2年)は各校のエースを相手に奮闘した。



3区栗原啓吾は1年生ながら堂々とした走りで1つ順位を上げた。

放すと、日本体育大学、日本大学をかわし、前の中継所から1つ順位を上げる15位(区間13位)で4区へ中継した。

栗原は高校時代に5000m 14分05秒45をマークした期待のルーキー。今季は出雲、全日本の両駅伝にも出走し、距離が延びる箱根でも、「上出来です。栗原が後半盛り返してくれたおかげで流れが変わった」と指揮官が評価するほどの結果を残した。

4区有馬は区間6位の好走

山に入る前の重要区間として位置付けられる4区は、前回8区10位の有馬圭哉(3年)が起用された。タスキを受けた時点でシードライオンから1分39秒遅れていたが、有馬は区間6位の好走でその差を46秒とし、13位へ順位を押し上げた。「3区の栗原が流れを変えてくれ



4区有馬圭哉(3年)は区間6位の好走で2人抜きを演じた。

たので、それが刺激になりました。後ろから追い上げてきた早稲田大学の選手が自分の設定より速いペースでしたが、必死に食らいついていったのが良かったです」と有馬。後輩が引き寄せた流れを加速させ、小田原で待ち受ける5区と同級生にタスキを託した。

高砂が復帰レースで活躍

最大標高874mの山を駆け上がる5区には、17年の全日本以来のレースとなる高砂大地(3年)が登場。13位でタスキを受けると、7km地点の大平台までに前の東京国際大学に追いつき、10km過ぎには中央大学を抜いて11位に浮上。20km前で明治大学をかわし、3人抜きの10位で芦ノ湖のゴールに飛び込んだ。「目標としていた1時間12分台には届かなかったですし、予想以



初の山なりに挑んだ高砂大地(3年)の活躍で13位から10位に浮上した。

上の寒暖差にやられましたと高砂は悔しそうだったが、1時間13分08秒の区間9位は復帰レースとしては上出来と言える結果。度重なる故障で戦列を離れていたものの、1年時に花の2区を任された高いポテンシャルを発揮し、エースとしての役割を全うした。

2019/1/3 復讐 全日本出場権の 9位には届かず

樋口は最後の山下りに苦戦

6区は樋口陸(4年)が4年連続で出場。下りのスペシャリストだが、今回は4年間で最も苦戦したが、今回は走り出した帝京大学に

まったくつづきことができず、42秒後方だった明治大学に、4・8km地点の芦之湯で7秒差まで詰められる展開。抜かれることはなかったものの、樋口は4年間でワーストの区間12位(60分14秒)



4年連続山下りの樋口陸(4年)は区間12位と苦しい走りになった。

で最後の箱根を終えた。川崎監督は、59分ジャストくらいではいけない」と想定していただけに誤算となった。本人は「空回りしてしまった」とレースを振り返り、シード権獲得は7区以降の後輩に託されることになった。

1年生吉田が粘りを見せる

7区は出雲と全日本の両駅伝に出場している吉田光汰(1年)。後ろから追い上げてきた明治大学に逆転され、一時は11位に転落したしかし、監督には後半勝負だと言われていたので、徐々に追い上げて行きましたと冷静にレースを組み立て、失速した明治大学を再逆転してみせる。

前を走る9位の拓殖大学との差も2秒詰め、「区間順位(16位)は悪いですけど、設定タイムとほぼ同じで走れているので、力は発揮し

たと思います」と監督が評価するほどの仕事を果たした。それでも9位とは30秒差の10位。11位とも27秒差で、運営管理車に乗る川崎監督にとってはヒヤヒヤのレースが続いた。

8区大濱で9位に浮上

川崎監督が重視している8区は、学生駅伝初出場となる大濱輝(3年)が力走を見せる。「他校はあまり意識せずに、設定タイムを守ることだけを考えて走りました」という心構えが奏功した。9位の拓殖大学に迫ると、15km過ぎの遊行寺坂を越えたあたりで逆転。ようやくひとケタ順位に浮上した。

大濱は設定タイムを10秒上回る1時間6分00秒で走破し、区間5位。これには指揮官も「ギリギリまで長山瑞季(3年)にするか迷いましたが、すごく良い走りをしてくれました」と評価した。拓殖大学を

箱根駅伝総合成績

順位	大学名	総合記録
1位	東海大学	10時間 52分 09秒
2位	青山学院大学	10時間 55分 50秒
3位	東洋大学	10時間 58分 03秒
4位	駒澤大学	11時間 01分 05秒
5位	帝京大学	11時間 03分 10秒
6位	法政大学	11時間 03分 57秒
7位	國學院大学	11時間 05分 32秒
8位	順天堂大学	11時間 08分 35秒
9位	拓殖大学	11時間 09分 10秒
10位	中央学院大学	11時間 09分 23秒
11位	中央大学	11時間 10分 39秒
12位	早稲田大学	11時間 10分 39秒
13位	日本体育大学	11時間 12分 17秒
14位	日本大学	11時間 13分 25秒
15位	東京国際大学	11時間 14分 42秒
16位	神奈川大学	11時間 15分 51秒
17位	明治大学	11時間 16分 42秒
18位	国士舘大学	11時間 16分 56秒
19位	大東文化大学	11時間 19分 48秒
20位	城西大学	11時間 19分 57秒
21位	山梨学院大学	11時間 24分 49秒
22位	上武大学	11時間 31分 14秒
OP	関東学生連合	11時間 21分 51秒

第96回大会へのシード権獲得

8区大濱輝(3年)の快走で9位に浮上。初の学生駅伝で結果を残した。



7区の吉田光汰(1年)は冷静なレース運びで10位を死守した。



9区釜谷直樹(4年)は区間15位と振るわなかったが、9位を死守。



箱根駅伝個人成績

区間	距離	氏名(学年)	区間タイム	区間順位	通過順位
1区	(21.3km)	川村 悠登(3年)	1時間 03分 14秒	14位	14位
2区	(23.1km)	高橋 翔也(2年)	1時間 09分 41秒	16位	16位
3区	(21.4km)	栗原 啓吾(1年)	1時間 04分 07秒	13位	15位
4区	(20.9km)	有馬 圭哉(3年)	1時間 03分 22秒	6位	13位
5区	(20.8km)	高砂 大地(3年)	1時間 13分 08秒	9位	10位
6区	(20.8km)	樋口 陸(4年)	1時間 00分 14秒	12位	10位
7区	(21.3km)	吉田 光汰(1年)	1時間 05分 30秒	16位	10位
8区	(21.4km)	大濱 輝(3年)	1時間 06分 00秒	5位	9位
9区	(23.1km)	釜谷 直樹(4年)	1時間 11分 44秒	15位	9位
10区	(23.0km)	石綿 宏人(2年)	1時間 12分 23秒	9位	10位

釜谷の苦戦で混戦模様

かわしたことで、全日本大学駅伝の推薦出場枠(前回の全日本でシード権を獲得した大学以外の箱根上位2校)に突入。9区以降は、いかに「9位」を死守するかという戦いになった。

復路のエース区間である9区を任されたのは釜谷直樹(4年)。全日本でも長距離区間の7区を担っているが、最初の1kmを「2分38秒くらい」で突っ込んでしまい、中盤以降は苦しんだ。鶴見中継所では10位の拓殖大学に29秒差、11位の明治大学にも57秒差まで迫られ、シード権確保も危うい状況になっ

石綿は総合10位でゴール

すべてが決まる10区は、川崎監督が「復路で一番自信を持って送り出した」という石綿宏人(2年)。暑さにも風にも強い選手として信頼は高かった。しかし、この日は本来の走りが見られない。途中から吹き荒れた向かい風に苦しめられ、

「調子は良かったのに、前半飛ばし過ぎましたね。後半は全然ダメでした」と川崎監督。釜谷は名門・西脇工高の出身で、コツコツ力をつけて4年目にして初めて箱根駅伝のチャンスをつかんだが、会心の走りはできなかった。

てきた。



石綿宏人(2年)は5年連続シードとなる総合10位でゴールした。

拓殖大学に逆転される。運営管理車に乗る川崎監督から、「何としても前につけ！」と檄が飛ばすも、前回と同じ総合10位でフィニッシュ。石綿は区間9位とまとめたものの、指揮官の高い期待に応えることはできなかった。

今回は主将の廣佳樹、前回2区の市山翼とともに4年、副将の藤田大智、1万m 28分29秒12を持つ横川巧(ともに3年)ら主力を故障などで欠く厳しい布陣だった。その中で、全日本大学駅伝の推薦出場をあと一歩で逃すも、箱根駅伝の「5年連続シード権」を確保。今回の悔しさは来年につながるかどうかだろう。



全日本のシードを逃し 10位でも喜びきれない

かわさき ゆうじ
駅伝部監督 **川崎 勇二**

最 最後までヒヤヒヤの展開ではありましたが、おかげさまで5年連続のシード権を獲得することができました。実は今回の箱根駅伝は、全日本大学駅伝のシード権も懸かっておりました。最後の1枠を拓殖大学と競っていましたが、残念ながらこちらのシード権は逃してしまいました。そのため、どうしても喜びきれない結果となっています。思えば初シードは第79回大会で、それ以来ずっと連続出場を継続しております。手伝いで来てくれるOB、父兄の方々、大学関係者の方々、たくさんの方々に支えられているということを決して忘れず、また1年間チームを作っていきます。



5年連続のシード権 おめでとうございます

いちかわ hitoshi
学 長 **市川 仁**

駅 伝部の皆さん、5年連続のシード権獲得おめでとうございます。これも川崎監督をはじめ、コーチ、選手の皆さんが一生懸命がんばってくれたおかげです。本当にありがとうございます。中央学院大学の駅伝部というのは、ただ駅伝を走っているだけではありません。自分たちの勉強、授業もしっかり受け、そのうえで結果を取っています。これには私も常日頃から尊敬しております。そのような積み重ねの上に、17年連続20回目の出場、そして今回のような成績があるということ、ぜひ皆さまの心に留めていただければと思います。本当に2日間、お疲れさまでした。

選手コメント



かわむら ゆうと
1区 川村 悠登 法学部3年
中央学院高等学校 (千葉県)

緊張せずに、いつも通りの準備ができました。周りの選手は強かったですね。自分の力不足が身に染みました。今回はチームメイトに助けられたので、応援してくれる方々のためにも、次回は1区でリベンジします。



ひぐち りく
6区 樋口 陸 法学部4年
武蔵越生高等学校 (埼玉県)

4年連続6区に起用していただいたのですが、空回りする結果に終わってしまいました。今回の結果を悔しいと思っている選手はたくさんいると思うので、後輩たちはこの経験をバネにがんばってほしいです。



たかはし しょうや
2区 高橋 翔也 法学部2年
船橋市立船橋高等学校 (千葉県)

もうちょっと走れると思ったんですけど、やはり2区はそんなに甘くなかったです。今の自分では太刀打ちできないので、もっとトラックの記録を伸ばして、来年は2区で戦えるようなエースになります。



よしだ こうた
7区 吉田 光汰 法学部1年
拓殖大学紅陵高等学校 (千葉県)

後半からが勝負だと言われたので、慌てず1人で追い上げられました。10kmまでは楽しく走れたのですが、それ以降は苦しかったですね。次回は区間5位以内で走り、チームの主力になれるようがんばっていきます。



くりはら けいご
3区 栗原 啓吾 法学部1年
東京農業大学第二高等学校 (群馬県)

前半から予定通りのペースで走れて、結果的にも設定タイムを切れたので良かったです。ただ、区間順位は13位だったので、まだまだだと感じました。今後は10000m28分台を目指し、次回は6区をやってみたいです。



おおはま ひかる
8区 大濱 輝 法学部3年
県立須磨友が丘高等学校 (兵庫県)

設定が66分10秒だったので、目標通りの走りができました。あまり順位のことは意識せずに、とにかく自分のタイム設定を確実に心掛けていました。来季はチームの中心軸になれるようがんばります。



ありま けいや
4区 有馬 圭哉 法学部3年
東播磨高等学校 (兵庫県)

栗原が流れを変える走りをしてくれたので、それが刺激になりました。最後まで設定タイムを刻めて、思い通りのレースができたと思います。次は4年生になるので、学年全体でしっかりチームを引っ張っていきます。



かまたに なおき
9区 釜谷 直樹 法学部4年
県立西脇工業高等学校 (兵庫県)

自分の役割を果たせず、後輩たちに全日本の予選会という大きな負債を残してしまったことが心残り。後輩たちには悔いのない1年間を過ごしてほしいです。自分はOBとして卒業後も応援していきます。



たかさご だいぢ
5区 高砂 大地 法学部3年
関西大学北陽高等学校 (大阪府)

寒さ&上り対策ができていたので、自信を持って臨んだのですが、目標にしていた72分台に届かない結果になってしまいました。来シーズンのことはまだ考えられないので、ひとまず休みたいというのが本音です。



いしわた ひろと
10区 石綿 宏人 法学部2年
松戸市立松戸高等学校 (千葉県)

自分の役割はチームの順位を1つでも上げて、全日本大学駅伝のシード権を獲得することででしたが、最低の走りをしてしまいました。来季は自分がチームを引っ張っていけるような立場になり、目標達成に貢献します。



中央学院大学
箱根駅伝特集ページ

中央学院大学の箱根駅伝レポートや選手へのインタビューによるコラムを掲載中。

CGU箱根 検索



駅伝部公式
Facebookページ

駅伝部最新情報は
こちらをご覧ください。
ぜひ「いいね」をお願いします。



CGU駅伝部
Twitter

箱根駅伝の臨場感あふれるつぶやきや
駅伝部の旬な情報をお届けします。

@cgu_ekiden